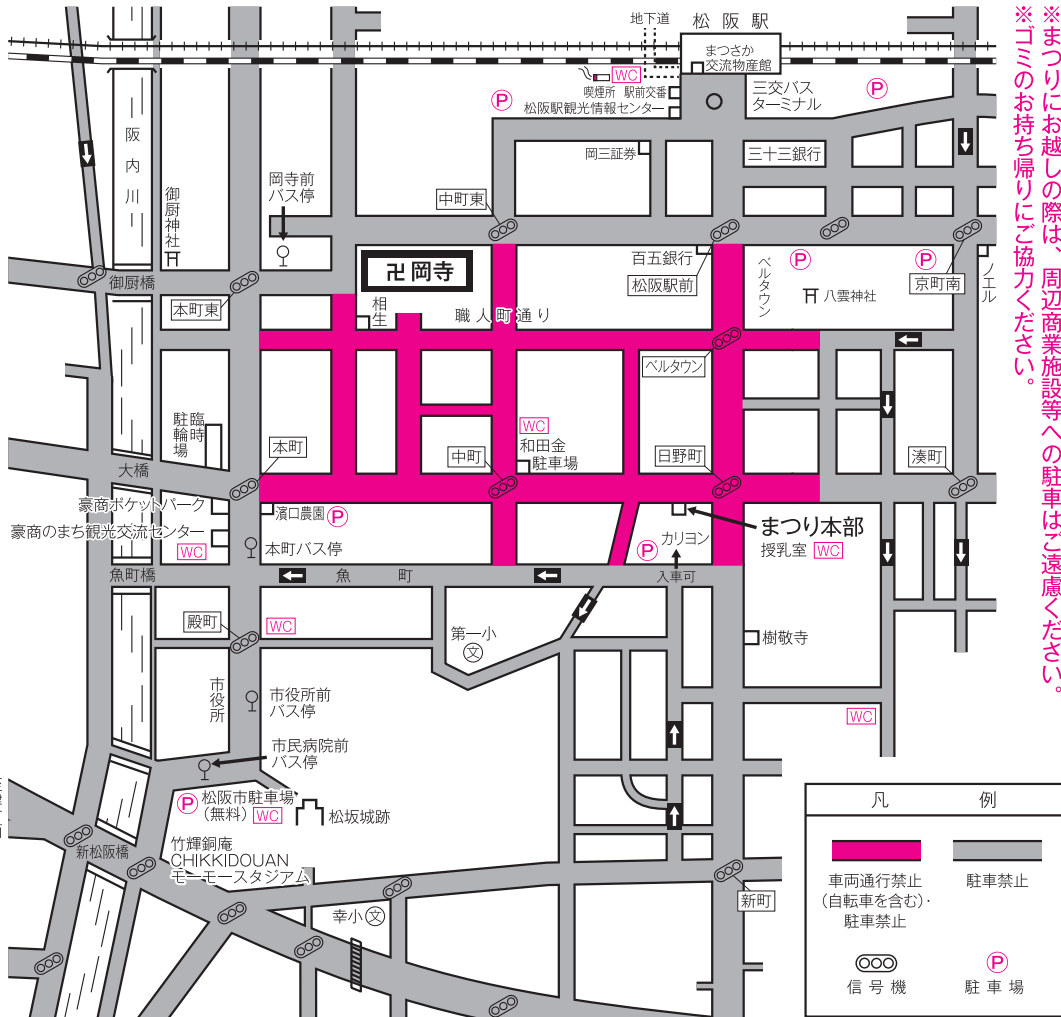


初午大祭とは

岡寺山継松寺で行われる初午大祭は、3月最初の午の日に近い土・日二日間にわたって行われ、県内の仏教寺院の祭礼としては最大の大祭として知られる。「厄をはじき去る」という縁起玩具の猿はじきやねじりおこしが売られ、人々はこれを買って一年の無事を祈る。

初午まつり交通規制図

※混雑が予想されますので電車、バス等の公共交通機関をご利用ください。
※まつりにお越しの際は、周辺商業施設等の駐車場はご遠慮ください。
※ゴミのお持ち帰りにご協力ください。



今日もまた
身につけよう
あなたの無事故
待つ家族
ヘルメット
交通ルールと

松阪警察署・松阪地区交通安全協会

交通規制時間 3月9日(土) 午前9時～午後9時、3月10日(日) 午前9時30分～午後7時

バスは3月9日(土)、10日(日)の終日、一部迂回運転します。下記のバス停が利用できません。

三交バス

平生町・パティオひの街・日野町(ベルタウン)・新町1丁目・新町4丁目・黒田町・西林・内五曲り

鈴の音バス

平生町・パティオひの街・日野町(ベルタウン)・よいほモール・よいほモール北・松阪工業ランド前・新町1丁目・新町4丁目

初午まつり

この地方に春を呼ぶ行事として厄年の方々をはじめ多くの参拝者で賑わいます。お寺周辺にはたくさんの露店が出店し、昔ながらのおまつり風景をお楽しみいただけます。



「猿はじき」の由来
江戸時代に始まったといわれる竹製の縁起玩具で、竹のバネで猿をはじき飛ばし「厄をはじきさる」という意味があります。



「ねじりおこし」の由来
牛馬に引かせた鋤で田んぼを掘り起こすと、土が「ねじりおこし」とまったく同じ形状にうねって出てくるところから、春の農耕が始まる前に、牛馬の厄をおとす縁起物になったといわれています。東京名物の一つ「雷おこし」は、松阪出身の人がねじりおこしにヒントを得て開発されたともいわれています。